

【教科】 道徳

【学習者】 3年3組

【授業者】 佐藤 小百合

令和7年10月20日（土）1校時

【主題名】

男女で分けへだてをせずに

【教材名】

ドッジボール大会

【ねらい】

- ① 得手、不得手や性差による決めつけをしてはいけないことを理解し、この理解をもとに日常的に行動できているか自分を見つめる。
- ② 誰に対しても分け隔てをしないで公正、公平な態度をとることが大切だということをそれぞれの立場に立ってさまざまな観点から考える。
- ③ 不公平なことや、いじめをなくすにはどうしたらよいかを考えることを通して、偏見をもって接することなく、公正、公平な態度で他者と接しようとする意識を高める。

【内容項目】C 公正、公平、社会正義

【本時のねらい】

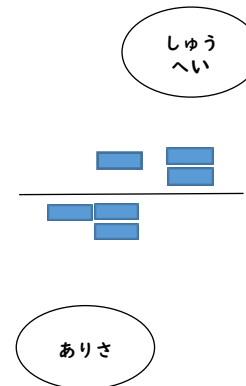
しゅうへいのしたことの問題点について話し合うことを通して、偏見を持たないことの大切さに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで、公正、公平な態度で接しようとする心情を育てる。

【本時の評価規準】

誰に対しても偏見をもたずに公正、公平な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

だれに対しても同じようにして、なかま外れにしないようにしたい

- 「きめつけるのはおかしい」と言い返した時のありさの気持ち
- ・私だつてうまくなりたい
 - ・戦力になる
 - ・チームなのにおかしい
 - ・女子だからとひとくくりにしないでほしい



- ドッジボール大会
- 「男女で分けへだてをせずに」
- 「女子は弱い」と言った時のしゅうへいの気持ち
- ・勝ちたい
 - ・女子はいつも当てられる
 - ・俺が投げたほうが強い

意味…差別なく、平等に

まとめ	展開	導入	学習過程
めめる。 えたことをま 学習を終えて、考 残りを読む。	貼 い場所 ・自分の考えに近 ・決りつけをされ ・ありさの気持 ちを考える。 ・しゅうへいの気 持ちを考える ・決りつけをした しゅうへいの気 持ちを考える ・七十四ページの 一行目まで読む。 ・決りつけをした しゅうへいの気 持ちを考える	決 め つ け て し ま う こ と が あ る か を 問 う。	学 習 活 動
10 分	30 分	5 分	時間
考える時間を確保 する。 ☆公正、公平な態度で 接することの大切さにつ いて自分との関わり で考えることができるか。 (発言・ワーク シート)	・自分のこととして 考えられるように する。互いに意見が 言えるようにする。	例を挙げて、考えが 結びつくようにす る。	・指導上の留意 ☆評価方法（観点）